

船橋市議会報告・ご意見をお聴きする会

毎月第一土曜日 10時～12時 場所：船橋市勤労市民センター

市政の情報、議会での議論を報告します。

同時に、皆様のご意見・ご要望をお聴かせいただく会です。

申込不要。気軽にご参加ください。



公式サイト



市政相談、いつでもお寄せください。

上記報告会・市政懇談会（→7面）などにおいていただき、相談内容、ご意見をお聞かせください。お急ぎの場合はメール（info@asakura.chiba.jp）をお寄せください。

●勉強ひろば（自習質問教室）を各公民館で開催

小中高校生、受験生の自習を見守り、質問に答える勉強ひろば（自習質問教室）を実施しています。開催日程は以下QRコードでご確認ください。また教える側のボランティアのスタッフも募集中です。

がんばれ受験生

千葉県公立高校入試
「数学」解答解説 →
大学入試共通テスト
数学（IA・IIB）・生物・
生物基礎・倫理・政治
経済（地方自治） →



開催予定
&詳細→



発行者 朝倉幹晴

〒273-0044 船橋市行田2-6-9-411

公式サイト <https://asakura.chiba.jp> 携帯 090-4075-5967

メール info@asakura.chiba.jp



1988年 東京大学農学部卒
89年 駿台予備学校生物科講師
95年 船橋に転居（文京区より）
97年 安歩権を掲げ、道・駅改善の市民運動スタート
99年 当選（現在6期目）
総務委員長・文教委員長・広報委員長を経験
徒步と自転車で活動中

- ・愛知県豊橋市生まれ
- ・日本分子生物学会・日本癌学会会員

著書
「休み時間の生物学」（講談社）
「病気とくすりの基礎知識」（講談社サイエンティフィク）
「円」「三角形」「図形の証明」「ウイルスと遺伝子」「ナイチンゲール生誕200年—その執念と夢」



公式サイト
・SNS一覧

@asakuramikiharu

この報告書はチラシではありません。市議・朝倉幹晴の公約に基づく公式の船橋市議会報告書です。

無党派市議会議員 朝倉みきはる

（駿台予備学校生物科講師）

理系の視点で
船橋市政に提言!!

info@asakura.chiba.jp

<https://asakura.chiba.jp>

109号（2026年1月発行）

議会・諸活動報告書
あさくらだより



2025年12月1日、7月11日船橋市議会質疑報告

鉄道9路線（35駅）と船橋市の発展



船橋市内には鉄道が9路線（35駅）あります。市民の多くは徒歩・自転車・バスで駅まで向かい、電車で職場・学校・買物等に通っています。船橋市役所が船橋駅南口側にあることに象徴されるように、これまで東京と船橋市（や千葉市）を東西につなぐ総武線軸が重視されてきました。しかし、これからは各路線ともに発展が必要です。たとえば、八千代市とつながる東葉高速線（東西線直通）、成田空港と東京を結ぶ北総線など北東方向軸が、船橋市を国際的にも発展させる軸となる可能性について質疑しました。（→2・3面）

セカンドキャリア、資格試験挑戦の支援

1つの会社・業界だけで生涯働くとは限らず、転職やスキルアップが必要な時代です。退職シニア世代、出産育児・介護後の再就職の支援のため、船橋市も東京都同様、セカンドキャリア支援講座を実施すべきです。当面、市がひとり親世帯に対して行っている宅建、ITパースポーツ等の資格取得支援を全世代に広げるよう提言しました。（→5面）



TikTokとYouTubeで市情報の動画を発信中

予備校や学習サポートで出会う10代の中高生・受験生への、高校・大学入試の数学・理科解説動画発信からTikTok や YouTube 動画発信をスタートさせました。今は、船橋市政・市議会活動報告をはじめ、船橋市各地の街角の風景、行事の様子、名所や船橋史解説、鉄道車窓の風景、宅建・ITパスポート等資格試験対策動画を発信しています。



TikTok



YouTube

鉄道9路線(35駅)と船橋市の発展

質疑・関連資料



質疑1 (鉄道路線と近隣市との協議の歴史)

船橋市政では、船橋市役所が船橋駅南口側にあることに象徴されるように、これまで東京と船橋市(や千葉市)を東西につなぐ総武線軸が重視されてきました。2010年代に船橋市が近隣市との協力を検討した経緯は?

→(市答弁) 2017・18年に、市川市、松戸市、鎌ヶ谷市と船橋市の4市で、「東葛飾・葛南地域4市政令指定都市研究会」を立ち上げ共同研究をした。この研究では、合併・政令都市移行を前提とはせず、将来的な方向性を模索し、政策と財政の両面から調査した。

質疑2 市川市・松戸市など総武線・武蔵野線軸中心の連携の検討であったが、この軸は習志野市も含めて、船橋市との連携よりも各市独自に歩む意志が強いと私は感じています。船橋市内には鉄道が9路線(35駅)があります。市民の多くは徒歩・自転車・バスで駅まで向かい、電車で職場・学校・買物等に通っています。これからは各路線ともに発展が必要です。たとえば、八千代市とつながる東葉高速線(東西線直通)、成田空港と東京を結ぶ北総線など北東方向の軸が、船橋市を国際的にも発展させる軸となる可能性を秘めているのではないかでしょうか?まずはこの軸にある八千代市、鎌ヶ谷市、白井市、更には成田市など北東に伸びる軸での他市との連携を検討すべきではないでしょうか?

→(市答弁) 八千代市、鎌ヶ谷市、白井市との鉄道を軸とした連携については「北総線沿線地域活性化協議会」「東葉高速自立支援委員会」「千葉県北西部企画担当者連絡会」などで、共通する課題に連携して取り組んでいる。

2025年船橋市議会本会議場での質疑テーマ一覧 詳細・録画中継

以下質疑内容一例



- 1月21日 貸貸アパートの防犯対策
- 2月21日 学校の建て替え・新築増築工事
- 3月 4日 学費値上げ反対意見書
- 3月18日 市財政(歳入)★
(6月市長選で4~6月市議会なし)
- 7月 1日 議長選。副議長選立候補者への質疑
- 7月 9日 さつき台(大穴地区)の地区計画
- 7月10日 米価高騰、国産米の安定供給意見書
- 7月11日 公民館のトイレ、和室のイスの改善
- 8月 3日 医療センター2024年度決算
- 9月 4日 高認試験対策支援

- 9月 5日 消費税減税・パレスチナ国家承認意見書
- 9月 8日 暑さ対策・船橋史(100年史)準備
- 9月29日 市の医師・保健師・看護師・薬剤師の働き★
- 10月 3日 市契約書の契約不適合責任の記載
- 11月20日 住宅性能表示(断熱等級など)
- 11月21日 性教育の「はどめ規定」撤廃意見書
- 12月 1日 理論と実学双方の視野を持つ学校教育
- 12月12日 消防局移転新築の建築構造
- 12月12日 障がい児童対応の学校EVの構造★
- 12月18日 債権回収と公示送達

(★は予算決算委員会全体会質疑)



船橋市にある9路線(35駅)と市境駅

総武線

下総中山駅・西船橋駅・船橋駅・東船橋駅・津田沼駅(市境)

京成本線

京成中山駅(市境)・東中山駅・京成西船駅・海神駅・京成船橋駅・大神宮下駅・船橋競馬場駅

京成松戸線

新津田沼駅・前原駅・薬園台駅・習志野駅・北習志野駅・高根木戸駅・高根公団駅・滝不動駅・三咲駅・二和向台駅・鎌ヶ谷大仏駅(市境)

武蔵野線・京葉線

船橋法典駅・西船橋駅・南船橋駅・二俣新町駅(市境)

東武アーバンパークライン

船橋駅・新船橋駅・塚田駅・馬込沢駅(市境)

北総線

小室駅

東西線・東葉高速線

原木中山駅・西船橋駅・東海神駅・飯山満駅・北習志野駅・船橋日大前駅



朝倉要望(まずは市境での隣接市との連携を)

私は電車だけでなく自転車でも市内各地に伺っている。坪井に伺ったときは、八千代緑が丘のイオンモールにも行くことがあります。坪井と八千代緑が丘は一体の商圏と感じる。丸山・二和などに伺うと鎌ヶ谷市との境界が多い。小室では、多くの人が白井市の幼稚園に通園している。本中山・前原(市川市・習志野市との市境)も含め、まずは市境では隣接市と連携を強めてほしい。

市外にある路線交差駅～新鎌ヶ谷駅(と飯田橋駅)に 船橋市のスペース設置を

鎌ヶ谷市内にある新鎌ヶ谷駅は、京成松戸線、東武アーバンパークライン、北総線の交差駅で、多くの船橋市民が乗り換えで使っています。ここには「駅ピアノ」もある待機スペース「こもれび」もあり、その一角に船橋市のスペースの設置を提案するのはいかがでしょうか?(2025年12月5日、市議会市民環境経済委員会で提案)(同様に総武線と東葉高速線・東西線の交差駅である「飯田橋駅」周辺にも市のスペースの設置を検討すべき)

東葉高速線新駅設置、市有地有効活用について

質疑・関連資料



質疑1 (駅設置に対し区画整理組合の応分負担を)

東葉高速線と海老川の交差地点、東海神駅と飯山満駅の中間に区画整理の街を作り新駅を設置する方向が進んでいます。同じ東葉高速線の坪井に「船橋日大前駅」を誘致したときには、そこに住む方々は結果としてその新駅の誘致に介する費用の一部を負担をしています。海老川上流地区の新駅についても、船橋日大前駅と同様、区画整理組合に応分の負担を求めるべきではないでしょうか。

→ (市答弁) 駅は海老川上流地区の核となり、広く市民の皆様の交通利便性も向上するので、新駅の請願者である本市が全額負担することとした。

質疑2 (医療センター現地・隣接地建て替え再検討、市有地有効活用を)

市長は10年前(2015・16年)の検討会報告書で、船橋市立医療センターの現地・隣接地建て替えを否定し、海老川上流地区に確保した新駅近くの市有地に移転する方向で進めようとしています。しかし、現地・隣接地建て替え否定の根拠とされた4点がこの10年間で変化しました。

- ①移転候補地が水害危惧地帯(ハザードマップで赤エリア)であることがはっきりした
- ②慶應義塾大学病院をはじめ、現地・隣接地建て替えの成功例が多く登場した
- ③市街化調整区域への病院建築の高さ制限が近隣市(柏市・千葉市)では撤廃され、病院建て替えでは現地・隣接地での高層化・機能集中化が標準となった
- ④経営規模を病床数449床を約400床に縮小すべきとの千葉大関係者からの意見

これらの変化を踏まえ、地盤も安定し水害危惧も少ない現地・隣接地への高層化建て替えを再検討すべきです。そして新駅周辺に確保した市有地は、公園・運動ひろばや、水害があっても命には影響しない施設(数日間の休校での対応ができる学校など)などの有効活用方向を市民の意見を公募しながら考えるべきと思うがどうか?

→ (市答弁) 移転計画を再検討するつもりはない。

朝倉コメント 残念な姿勢ですが、これからの市政の転換を求めていきます。

船橋市・千葉県を感じる映画・ドラマ～「翔んで埼玉」「僕だけがいない街」

映画「翔んで埼玉」では、埼玉県のライバル・友として千葉県が多く登場し、ふなっしー・チーバくんも一瞬登場します。Netflix連続ドラマ「僕だけがいない街」(27分×12話)は、船橋市のアパートに住むマンガ家志望の主人公(藤沼悟)が、出身地の北海道苫小牧市と転入先の船橋市で格闘するドラマで、船橋市の風景が数多く登場します。ぜひご覧ください。



セカンドキャリア、資格試験挑戦の支援

質疑・関連資料



質疑1 (セカンドキャリア、資格取得支援)

東京都が実施している企業幹部や大学教員を講師とした「セカンドキャリア塾」を船橋市でも始めるべきです。同時に、すぐに役立つ可能性のある資格取得支援を行すべきです。まず現状で行っているひとり親世帯への支援策をお示しください。

→ (市答弁) 市ではひとり親家庭等の方を対象とした医療事務等の資格取得講習会を実施するとともに、国の指定する教育訓練給付金の対象科目を受講した場合に、受講料の一部を支給している。



質疑2 (学校教育においても「実学」の視点を)

資格取得で、自らのスキルアップ、転職、家計UPに挑戦しようとしているのは、ひとり親世帯だけではありません。特に、最大の申込者数となっている宅建とITパスポートの申込者は年間30万人を超えています。人口比で単純計算しても、それぞれ約1,500名以上の船橋市民が挑戦されており、他の資格も含め、1万人程度の船橋市民が資格に挑戦されていると推定できます。資格挑戦への支援を、ひとり親世帯のみならず全世帯に広げるべきです。

資格習得など「実学」分野を学ぶ方が気づく視点は学校教育にも活かすべきです。

学校教育では入試や大学進学、そして研究につながりうる「理論」が重視されています。中3理科では、「イオン」の分野でアルカリ性検出試薬のフェノールフタレン水溶液(アルカリ性で赤変)を学びます。宅建試験の問50(建物)では、RC(鉄筋コンクリート)の強度測定の「コンクリート中性化深さ」が問われ、この時の試薬が同溶液です。このような生活の実例で、実学的視点を学ぶことも学校教育で必要だと思いますがいかがでしょうか?

→ (市教育委員会答弁) 学校教育では理論と共に実学的視点も重要で、その視点も強める。

2025年宅建試験・ITパスポート試験に合格しました。

詳細→



私自身、船橋市議会で住宅、ITを含む情報管理の政策の充実を質疑していく上で、最新の国や時代の変化が求めている状況を知るために、2025年に宅建・ITパスポート試験を受け合格しました。市議会質疑に生かすとともに以下を実施します。

- ①宅建・ITパスポート挑戦者への直接アドバイス(講座開催・個別面談)
- ②宅建・ITパスポート試験対策動画発信
- ③写真パネル展「実例で学ぶ都市計画・建築基準法・権利関係」

→ 船橋市民ギャラリー開催 4月13~18日、6月29日~7月5日(各日10~20時)



次世代を育てる取り組み

●学習サポート

児童養護施設、母子生活支援施設や、各公民館で、小中高校生の学習サポートを15年間続けてきました。



予備校で教えた元生徒が医師として活躍はじめています。



2012年



2024年

●医学部受験生に、連続講演会(予備校にて)

講演者インタビュー動画→



鄭雄一 医師
(東京大学医学部教授)

長谷川智華さん
(東邦大学法医学部)

小澤竹俊 医師
(在宅緩和ケア医)

●オレンジリボン(児童虐待のない社会の実現) キャンペーンで、津田沼でのパネルディスカッションに登壇(2024年12月8日)



理系の視点で船橋市議会で提言

大学時代、理系研究室で学び、卒業後、駿台予備学校で医学部受験生や理系受験生に生物学を教えてきました。加えて学習サポートで数学を教え、数学・理科の解説YouTube動画も多数発信しています。その経験を活かし、この15年間は、船橋市議会で以下のような取り組みを進めてまいりました。



分子生物学実験中の朝倉
@研究室

①2011～13年 福島原発事故から飛来した放射性物質の調査・対策

大学時代からの友人、箕輪はるかさん（慈恵医大アイソトープ研究施設准教授）と協力し、事故での飛来直後の2011年5月28・29日に市内100か所で放射線量を調査。学校の落ち葉・側溝の土砂などに放射性物質が多いことを突き止め除去を要請し、除去される。



詳細は↑

②2019～2022年 新型コロナウイルス・変異株に対するPCR検査の実施

当初、船橋市保健所のPCR装置で検査が行われていなかったのは、厚生労働省の検査場所基準から、船橋市など中核市が外れていることを解明し市議会で指摘。国からの試薬（プライマー・陽性コントロール等）を送付開始を要請し、千葉市から3か月遅れとなったが実施できるようになる。（この経過は、2021年12月2日の日本分子生物学会のフォーラムで発表）



③2022年 高瀬下水処理場における微生物処理を市議会で質疑

船橋市の高瀬下水処理で活躍している微生物たち（メタン生成細菌・硫黄酸化細菌など）の役割の大切さを市議会で質疑しました。

無党派を貫きます。

私は政党に所属せず20年間以上市議を続けてきました。市民の方々の中には、大多数の無党派の方の他、様々な政党の支持者もいらっしゃいます。様々な市民の方々の声を受け止めるためには、一つの党に偏しないほうがバランスがよいと考えるからです。



25公民館巡回「市政懇談会」、 マンション管理セミナーを開催します。

詳細・日程等→

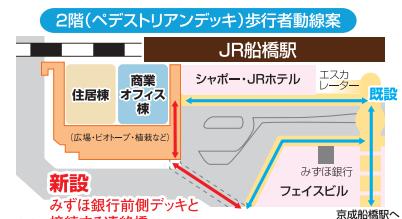
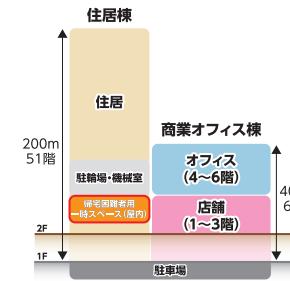


2024年から年に2回ほど、市内各地の公民館を巡回し、各地の皆様のご意見をお伺いする「市政懇談会」を開催します。今年も4～7月、9～11月の2巡を予定しています。

またマンション管理セミナーも2・3回実施します。

西武船橋店跡地開発と歩行者動線

跡地活用案詳細↑



東大駒場祭「大学自治と学費問題」シンポジウムでパネラーとして発言

2025年11月23日、学費値上げ反対に取り組む大学生から呼ばれ、加藤陽子教授（法学系大学院）などパネラーの皆さんと共にシンポジウムでパネラーとして発言しました。東大駒場寮委員長時代の経験から、大学と学生が真摯に話し合いで大学運営を決めていくべきことを発言しました。



アマゾンなどにて
取り扱っています。



拙著案内

